



岐阜県版
第405号
2024年4月15日

治安維持法同盟
岐阜県本部
〒500-8879
岐阜市徹明通7-13
岐阜県教育会館308号室
Tel 058-252-5366
振替00840-2-88638

第14回国賠同盟岐阜県 女性部総会に出席して

中濃支部 安藤 百合子

三月二日に第一四回女性部総会が美濃加茂市で開かれまし

た。二〇二〇年はコロナ禍で活動できなかった

が二〇二二年には、映画「わが青春つぎるとも」の上映会を各地で成功させるために活動し、全国女性交流会

会、各地域での講演会、交流会、新入会員歓迎会、勉強会などの活動報告がありました。

三三名の多数の参加で、特に遠方の郡

上市から八名の方が参加され大変嬉しかったです。

県平和委員会の武藤清吾氏の講演「南西

諸島の軍事化と沖縄の今」は、とても良かったと多くの方々からも聞かれました。

復帰後も減らない基地負担や、沖縄の差別は今も続いていること、経済格差も深刻で特に子どもの貧困率が全国の二倍と知って胸が痛みました。

翁長前知事や、玉城デニー知事が平和を求める地域外交を積極的に行っていることも知ることが出来、とても有意義な時間でした。

寺倉和子さんのギターと唄も、心に響きとても素晴らしかったです。そして、県母親大会の広告カンパに快くご協力いただき、感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございます。

村瀬優さんを悼む

岐阜支部 上野 美美

岐阜支部にとって大切な理事で、署名係の

村瀬優(まさる)さんがいなくなってしまう。いろいろな集会には必ず黄色い署名板を持つ

私たちの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は、戦前の治安維持法が、人道に反する悪法である事を認めること
- 三、国は、治安維持法の犠牲者に、謝罪と賠償をおこなう事

た村瀬さんの姿がありました。寡黙であまりしゃべらないのに絶対に当てになる人でした。「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟」の長い名前の団体は地味で理解力がいります。そのため理事を務めるのは大変です。理事になってもじきに辞めてしまわれます。村瀬さんは一度も理事を辞めると言われませんでした。

「よく転ぶようになったから施設に入った」とお電話があつてからしばらくして「退所された」と聞いてからすぐの訃報にびっくりしました。

いつも一緒にだったお連れ合いの女子さんのかなしみはいかばかりかと思えます。ご自分には用がないのに車でお迎えに来る仲の良さでした。おそらく喧嘩などされたことはないでしょう。

優さんにはどんな事でも受け止めてしまう抱擁があるからです。本当に残念でなりません。ご冥福を祈ります。



3月・国賠同盟県女性部総会など

中濃支部 和田昌三

ああ奥住さん 県女性

部総会へ行く途中Hさんから聞いた。「奥住さんが死んないたって!」「えっ!」あとは言葉が出なかつた。Hさんは、そのことを知つた事情を話してくれたが、私の頭の中は、奥住さんのことで一杯で耳に入らなかつた。

「農民の父」可児義雄の話の聞いたのが最初だつたか?そして「濃飛のいしずえ」での出会い、郡上一揆の会にも入つて頂き、色んな会によく来てくださった。農民の父「可児義雄生誕一二〇年祭」の時を始め、話も良くしてもらつた。「岐阜いしずえ会二〇年のあゆみ」の編集が目に見える最後のお仕事だつたと思う。いつも主役のくせに、いつも陰に回つてほんとに奥ゆかしい人だつた。もう一度会いたかつた。「濃飛のいしずえ」七〇号の片桐義之さんの追悼文を讀

んで、初めて奥住さんの過去を知つた。一層その偉大さが分かる。安らかにお休みください。

県女性部総会

「不屈」と同時に案内をもつた時、女性部が、郡上は無理やなと思つた。後から交告さんから「二人、三人でもええから」と電話をもらい奮起した。チラシに、「男性可、非同盟員可」などと書き添えプリントして声をかけた。

幸いこの日は郡上から八人参加(同盟員男四、女一、非同盟員男一、女二)。嬉しかつた。会場内でも郡上の割合が多かつたと思う。

講演は琉球大名誉教授・岐阜県平和委員会常任理事武藤清吾さんの「南西諸島の軍事化と沖繩の今」。B4一二頁もの資料をもとに分かり易く話された。時間の制約もあつたが、とてもいい話だつたと、皆の感想だつた。

その後、大垣の寺倉和子さんがギターを抱えて登場、郡上の者にとっては、あの増田康記さんの女性版という感じ。やつぱり関係があつて、郡上から参加してくれていた増田さんが指名されて登壇、彼作曲の「軟弱者」の伴奏と歌を唄われた。挨拶の後、彼女のギターを受け取ると、音合わせもせず一気に歌い出した。みんな大拍手と共に大合唱、その後は彼女の歌と伴奏に合わせて、「私の子供たちへ」や「青い空は」などを合唱、閉会となつた。郡

上からもつと多くの人に参加してほしかつた。

前進座観劇

四日は、岐阜市民会館での前進座公演の観劇、親鸞と恵信尼の僧籍初婚の結婚と恵信尼の佛の世界への没入、「恵信尼は、親鸞と固い絆で結ばれ、親鸞を支え」伴走した、自立した一人の人間として生き抜いた波瀾万丈の生涯(公演会資料より)を描いた異色の舞台。これまでも幾つか前進座の仏教の先達を描いた舞台を見てきたが、今回は確かに異色。良かった。芝居を観るのは久しぶり、もう自分では行けない。妻も岐阜まではちよつと無理。美濃加茂へも、岐阜へも、行けた



のはKさんのお陰。同じ活動仲間、有難い。

スコップ三味線一座 富加町のタウンホールとみかへ表記の公演を見に行った。二月のある日、中日新聞で見て、ぜひと思つていて、その日(一〇日)を迎えた。妻の体調も良く、まあまあ行けそうとのことだ。早めに着いたが駐車場が満杯。係員の女性(郡上出身とのこと)の優しい案内で車も置け開会前には入れた。が、五〇〇人くらいの定員のホールが超満員、通路も後ろの立ち見席も満員、すごい人気だった。杖や後ろのもたれの壁を頼りに第一部だけ何とか見えた。残念ながら疲れも大きくそれだけで帰ってきた。

内容は高齢の女性を中心にスコップをギターのように抱え演奏、これがメインで、その他腹話術、民謡、バレエ、お笑いなど、沢山の人が入れ替わり出演、誰も芸達者で楽しい、すでに県内各地で公演してみえる由、知らぬは郡上ばかりという感じだった。

ぜひこの一部だけでも「郡上一揆起こつて二七〇年!」「農民の父」可児義雄生誕一三〇年!」の今年、郡上一揆の会、農民の父「可児義雄顕彰会」としてイベントと組んで出来ないかの思いを強くして帰ってきた。良く動いた三月上旬であった。

「勝手に郡上通信」より

奮起を!黄色い署名まだ

目標の半分以下です!

残念です。まだ目標(二五〇筆)の半分以下です。皆さん奮起を! 国賠同盟の運動の基本は、「不屈」県版の題字の下にあるように、「ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために」、皆さんが普段願っていることです。ぜひそのために一層の頑張りをお願いします。

家族だけでも複数の数があります。近所、友達、親戚、集会：常に持つて歩きましょう。

宜しく!連絡頂いていない方、少して増えた方、ご連絡をお願いいたします!!



穏やかな日野の里に人殺しの訓練場はいらない

岐阜支部 堀田 紀治

昨年六月、日野の自衛隊射撃場で自衛隊員による銃撃殺人がおきました。これは、人殺しの訓練場だから起こった事件です。これまで銃声音に悩まされた日野の住民は市と一体となり射撃場を撤去し自然公園にする事を要求してきました。それを無視し居座り続けておきた事件です。

一、日野の郷は

日野郷は、鎌倉期から見える郷名で、長良川左岸に位置し、北は長良川、西は金華山の東麓、東は兎走山で岩田山と接し、西に西山中央部東西に丁度舟を伏せたような舟伏山と呼ばれる優しい山があります。この山を囲んで広がっているのが日野の郷です。

①自然と景観

西に金華山「長良川の景観に欠くことの出来ない存在で、金華山の剛に対して、穏やかな稜線は女性的で対象の妙を感じさせる」舟伏山が走る自然豊かで、古くから「穏やかな里」と呼ばれてきた所です。

舟伏山は金華山の方から眺めると、富士

山のように美しく、日野富士、夕暮れ富士と呼ばれ民人に親しまれてきました。その直ぐ北側を長良川が揺つたりと流れています。

・舟伏山の西に位置する達目洞には天然記念物「ヒメコウホネ」の群生地があります。

②歴史と文化

・舟伏山の麓には、寺田遺跡、日野遺跡、舟伏山古墳群があり、日野石室古墳が存在し歴史の古さを感じさせます。

・舟伏山北の諏訪神社には鎌倉時代(一三〇六年)の獅子舞の木造獅子頭があります。

・織田信長の命を受け、岐阜城攻めに先行した木下藤吉郎のルートにあたります。

・日野の里から北へ向う街道には江戸時代寺子屋が行なわれた誓源寺があります。

・江戸時代初期は、加納城主の領地でした。城主安藤信成の時代、お家騒動で滅封され、長森地区の村々と共に幕領として、笠松代官支配となりました。

・明和六(一七六九)年、庄屋と役人の不正を江戸へ訴えでた日野騒動で二名の農民が獄死し、その墓が誓源寺の鐘樓の脇にあります。
・善良な民人を讃える「ヘビ塚」が舟伏山山頂にあります。(岐阜市の伝え話に収録)。

・一九三二(s七)年三月大ヒットした古賀政男の非恋を詠ったといわれる「影を慕いて」の碑が不動閣前の庭にあります。

※このように、日野の里は、自然と景観、歴史と文化の宝庫で、自衛隊の存在は認めるにしても「人殺しの訓練場」としては相応しいものではないのです。

「自然・景観・文化・歴史・健康の里・公園」として発展させることこそ相応しいのではないのでしょうか。この一点で地域住民と市民の共同を発展させることが必要ではないでしょうか。

二、舟伏山は訴えます

私は古くから穏やかな日野の里、そこに暮らす善良な民人を見守ってきました。

明治に入り日清、日露と戦争が続くなかで、明治四一年日野の里に陸軍の射撃場が設置されました。そして日中戦争、アジア太平洋戦争へと戦争する国へと変わっていきました。

この穏やかな里からも、多くの大切な父親や夫、息子や兄弟、恋人が戦地おくられていくのを涙ながらに見送り、白木の箱に入って帰ってくるのを涙ながらに迎えました。

敗戦後「自然公園」にする事が決まりホツとしたのも束の間、自衛隊という名の軍隊が入り人殺しの訓練を始めました。このなかで今回の自衛隊員射殺事件がおきました。

人殺しの訓練場だから、そおきた事件です。

私はもう嫌です。

銃声を聞くことも、大切な人々を戦地に送

ることも、白木の箱に入って帰ってくるのを迎えることも。

舟伏山は訴えます。

岐阜市のみなさん

愛郷の精神で団結してください

「夕暮れ富士」と呼ばれる、夕焼けの美しい炎を血で染めないでください。

憲法九条を生かし、戦のない世界を築いてください！と

※日野富士と呼ばれるほどの日野の山、射撃の音で汚してはならぬ。

